

亀川の信仰について

相良 喜久子

亀川の民間信仰には、いろいろな宗教がある。そのいろいろな宗教についてまとめてみたいと思う。

西念寺

この寺は京都の本願寺、西本願寺派のお寺である。毎年、十月には、御説教があり「人間は、御仏に生かされて、生きている。」という、仏陀と人との深い仏縁のお話があり、人間とは何か？ 生きるとは何か？ 人生とは何か？ 人間と宗教との深いかかわりあいを説いてくれる、たいへん古い、また良いお寺である。住職の高橋さんは「南無の会」という仏教を勉強する人たちの会を催し、広く別府市の宗教活動に貢献している。

高野山薬師寺

このお寺は、民間信仰、庶民信仰の代表的なお寺である。和歌山県の高野山薬師寺の別院である。庶民皆が一同に救われていくことを一心に願う、尊い教えがそこにある。高野山で修業した僧侶たちによる祈願祭が二月にある。この祈願祭の線香の煙と共に亀川の町に春がやってくる。住職、自から家々を訪れ、「範ちゃん元気にしちよるかえ、喜久子ちゃんお元気やろうか？ 範ちゃん、病気は直ったかえ、手術はひどかったなあ。」と言葉がけし、励ましていく住職さんである。気さくで、飾りけがなく、心が暖かい人であるのは、亀川中に有名である。高野山の庶民信仰のありがたさを痛切に感じるのである。住職である林さんに私は深く感謝しているのである。

八幡竈門神社

この神社は、亀川の氏神様である。私は、正月参りを欠かしたことがない。四月の温泉まつりの「お下り」には、亀川中の子供たちがこのおまつりに参加して無事すくすくと育つように、御祈願するのである。また、その他の行事としては亀川の夏祭りには、御神体自ずから山から下ってきて、亀川の人たちにお陰を下さるのである。正月のころになると、多くの人たちが家内安全、商売繁盛を願って、亀川町はもとより、その他の町村からもやってくるのである。

金光教亀川教会

この教会は、本部は岡山県の金光町にある。教会長は、福原俊雄先生である。「信心は日々の改まりが第一である。毎日、元日の心で暮らし、日が暮れたら大晦日と思ひ、夜が明けたら元日と思って、日々楽しく暮らせば家庭に不和はない。」「信心するという心におかげはない。信心させていただくという心におかげがある。」「おかげを受けられるか受けられないかは、わが心にある。わが心さえ改めれば、いくらでもおかげは受けられる」この

ような、現世を肯定した明るいおしえて、今も毎日、布教を続けられている。「暗い人間も、金光教に入信すれば明るい人間になる。」とは有名な話である。神道の一つである、金光教である。

西光寺

このお寺は浄土真宗西本願寺派のお寺である。このお寺は、別名「亀川の町民のお寺」といわれる程、亀川の人たちにはなじみの深いお寺である。亀川の町の真中に位置し、亀川の人たちで知らない人はだれもない。亀川の町で一番大きなお寺である。二か月に一度くらい法要があり、たいへん為になるお説教をしてくれるのである。説教の内容は、毎日の生活にとってたいへん参考になる有益な話であり、ときには、歌があり漫才があり、いろいろとアトラクションがあり、楽しく朗らかに生きていく、人生を歩んでいくという浄土真宗らしい考えがたいへん良く表われているお寺である。

インマヌエル別府キリスト教会

亀川四の湯町にある亀川町唯一のキリスト教教会である。インマヌエルキリスト教とは、日本で起こったキリスト教である。教義は、聖書を中心にして愛と平和を教えるという、内容である。最近は関の江にも新しい教会が出来たのである。温厚な牧師さんとその夫人が信者さんたちのお世話をしている、たいへん暖かい、落ちついた、上品なたいへん良い教会です。

私は、このような、いろいろな信仰をまた宗教を通して、今のように人の心が砂漠のように乾燥した中で、宗教はたいへん有益なものだと思っています。心が豊かな者、心が満たされている者は幸福です。けっしてお金などでは、心を売り買ひすることは、できません。心の楽園、心のオアシスは、無駄なものではありません。亀川の信仰はみな、たいへん良いものです。亀川の信者さんたちは、心の広い、心の暖かい人たちばかりです。私は一生信仰を持ち続け、この世の中の為になる、「何か？」を行なっていこうと思っています。「継続は力なり」と言います。一生努力しようと思います。これで亀川の民間信仰の報告をおわります。

別府の伝説

由布岳・鶴見岳

堀

藤吉郎

由布岳と祖母岳の妻争い

九州の背骨と言われる九州山脈、しかも九州の山の殆どが火山系に属するのにこの山脈だけが火山系でなく九州で一番長大な山脈をもって原始的な姿を現し、森林に覆われていること。九重や阿蘇の山々と違ってあまり今では登山者の山歩きの少ない未開といってもよい程の山々が連なっている。今では祖母傾山系として県立公園となつて、近ごろ登山者の関心を持って来た山で、九州では珍しいといわれる熊やカモシカが生息していて、学会の問題になつている。この峰々の盟主となつている祖母岳（二、七五八米）と阿蘇火山脈の通過している標識的な死火山、豊後富士とか筑紫富士とも呼ばれる由布岳（二、五八三米）のこの二つの山の妻争いの伝説が語り